

## 国税庁主催「本格焼酎・泡盛セミナー」の様様

### ○ 開催概要

日時：平成28年2月22日（月）14時30分～17時30分

場所：球磨焼酎ミュージアム 白岳伝承蔵（熊本県人吉市合ノ原町461-7）

後援：日本酒造組合中央会

参加者：約70名

### ○ 当日の様様

- ・ 開催に当たり、国税庁柴崎審議官から、本格焼酎・泡盛の消費量や製造者の分布等を清酒と比較しながら紹介し、九州・沖縄が本格焼酎・泡盛の本場であることや、本格焼酎・泡盛の今後の可能性や展開について一緒に考えていただきたいことなどをお伝えしました。



- ・ 本格焼酎・泡盛の製造者の全国団体であり、本イベントへ後援いただいた日本酒造組合中央会本坊松美副会長からご挨拶いただき、昨年のミラノ万博でのイベントなど、業界の取組についてお話しいたきました。

- ・ 鹿児島大学客員教授鮫島吉廣氏による基調講演では、焼酎の日本への伝来などの歴史をはじめとして、お湯割りで飲む、熟成させずに新酒で飲むといった世界の蒸留酒と比較した焼酎の特徴、温暖な地での焼酎製造におけるクエン酸の働きといった化学的な視点、焼酎の国際化に向けた今後の展開など、世界に誇る焼酎の特性と文化について、多様な観点からご講演いただきました。



- ・ パネルディスカッションでは、熊本県内のテレビやラジオで活躍されているタレントの大田黒浩一氏の進行により、
  - ◇ 生活の中で愛される本格焼酎・泡盛
  - ◇ 外国人旅行者の増加や地方創生の観点から、本格焼酎・泡盛を紹介する方策
  - ◇ 本格焼酎・泡盛をもっと消費者に知ってもらうためのアイデア
 といったテーマについて、4名のパネリストの方々に活発にご議論いただきました。



パネルディスカッションの中では、日本に住んでいる留学生に本格焼酎・泡盛を知ってもらうといった取組や、本格焼酎・泡盛の健康面への影響、商品ラベル等での情報発信の必要性といった話が展開されました。

最後に、パネリストの皆さん1人1人の「焼酎愛」についてお話しいただき、大田黒氏が、「本日この場でお話ししたことや本格焼酎・泡盛の文化などを日本中・世界中の人たちに発信していくことが大切である」と締めくくりました。



有村友美氏  
(清流山水花あゆの里若女将)



鮫島吉廣氏  
(鹿児島大学客員教授)



中原丈雄氏  
(俳優、球磨焼酎大使)



渡邊眞一郎氏  
(京屋酒造 代表取締役)

- ・ リレー講演では、冒頭、福岡国税局近藤酒類監理官から、酒類の地理的表示制度等について説明を行いました。福岡、熊本の各国税局や沖縄国税事務所に勤務し、業界の技術支援に携わった経験を踏まえ、本格焼酎・泡盛は品質・技術共に素晴らしいレベルにあることや、地理的表示制度を活用しつつ、産地ごとにブランド戦略を持つ必要性等についてお話ししました。



その後、現在、国税庁で地理的表示の指定を行っている本格焼酎・泡盛の産地である「球磨」、「琉球」、「壱岐」、「薩摩」の製造者の方から、それぞれの酒類の特性や味わい、各地域におけるブランド化への取組などについて順にご紹介いただきました。



**【球磨】**  
高橋光宏氏  
(高橋酒造 代表取締役)



**【琉球】**  
佐久本稔氏  
(沖縄県酒造組合 主事)



**【壱岐】**  
山内昭人氏  
(玄海酒造 代表取締役)



**【薩摩】**  
寺原章氏  
(大口酒造 取締役)

- ・ 閉会挨拶において、熊本国税局渡邊局長から参加者の皆さんに対し、「本格焼酎・泡盛の今後一層の発展のため、本日のセミナーで得た知識や本格焼酎・泡盛の魅力をそれぞれの立場から発信し、全国、さらに全世界へと広めていきたい」と呼びかけました。

